

平成29年度 第5回東区まちづくり懇話会議事録(要旨)

1 開催日時

平成30年2月28日(水) 午後2時~午後3時50分

2 会 場

熊本市東区役所3階 すこやかホール

3 出席委員(順不同)

澤田委員、宮崎委員、柳本委員、福本委員、松尾委員、倉橋委員
宮下委員、餅崎委員、西原委員、松本委員、丸山委員、長島委員、
大島委員、豊田委員、劔羽委員、橋本委員 16名出席

4 議 事

(1) 平成30年度 東区まちづくり推進事業について

5 その他

(1) 仮設住宅・みなし仮設住宅に居住している方への支援等について

(2) 地域包括ケアシステムの推進状況について

(3) 校区防災訓練等の実施状況について

6 閉 会

議事発言要旨

議 事

◇会長

次第に沿って議事を進めていく。

本日の議事では、委員の皆様から頂いたご意見やご提案がどのような形でまちづくり推進事業に反映されたのかを説明していただくことになっている。

また、「仮設住宅・みなし仮設住宅に居住している方への支援等について」他2件を説明していただくことになっている。

それでは、議事（１）「平成30年度 東区まちづくり推進事業について」について事務局から説明をお願いします。

■事務局（資料1について説明）

◇会長

事務局からの説明について質問・意見等ないか。

○委員

先程、説明があったおやじの会のサミットは、重要な取り組みだと思う。何故なら、サミットの中で地域活動の情報交換をした結果、PTAなどでは後任者への引継ぎが円滑に行われているからである。

○委員

子ども会の活動に従事している方々は、どうやって活動すればよいのかが判らず対応に苦慮している。

そこで、他校区の活動事例を情報共有することは非常に大切なことであるため、子ども会の活性化に関する取り組みは、大いに進めていただきたい。

■事務局

先日行ったワークショップでは、大人がただ単に子ども会の運営に関わるのではなく、子どもたちが企画立案して開催することも重要ではないのかという意見があった。

今後も様々なところから情報を収集しながら、子ども会の活性化に向けた取り組みを地域協働で進めていきたい。

○委員

活性化に向けた取り組みによって、子どもたちが充実感を味わえるような子供会になることを期待している。

◇会長

補足説明をさせていただくが、以前の懇話会で子ども会が親会になっているため、子どもたちが主体的になって取り組むための工夫も必要ではないのかという意見があった。

事務局側には子どもたちが積極的に関わるための仕組みづくりを検討していただきたい。

他に質問・意見はないか。

◇会長

私から質問をさせていただきたい。前年度よりも予算額が400万円程減額になった理由を教えてください。

■事務局

来年度も本庁が中心となって民間の広報誌を活用しながら地域の情報を発信することになった。そのための費用として各区から400万円づつ費用を捻出することになったからである。

◇会長

託麻三山に関する情報があれば教えてください。

○委員

昨年は宣伝のために4つの会場で写真展を開催した。託麻三山周辺に遺跡があることを知らない方が大勢いたため、よい宣伝になったと思う。

今年は、4月7日に託麻新四国八十八ヶ所のガイドを行う予定であり、100名程度の参加を見越して準備を行っているところである。

○委員

事業は個別に行うよりもタイアップした方がよいと思う。例えば、お祭りを開催するときに認知症の啓発を行えば、より多くの方に認知症のことを知ってもらうためのきっかけになるかもしれない。また、託麻三山ウォーキングに子ども会の方々に参加してもらえれば、託麻三山の認知度も上がり子ども会の活

性化にも繋がる。様々な事業とタイアップするという視点を持って事業に取り組めばより大きな効果が得られると思う。

◇会長

事務局側にはいくつかの事業を組み合わせることによってより大きな効果を得るという視点を持っていただきたい。

また、防災訓練や子ども会の活動等をどのようにして行えばよいのか判らない方々もいるため、地域担当職員が率先して他地域の活動事例を紹介するなどの方法で地域の方々を支援していただきたい。

他に意見・質問等がないため、その他「(1) 仮設住宅・みなし仮設住宅に居住している方への支援等について」に移らせていただく。それでは、事務局からの説明をお願いします。

■事務局

「資料2」に沿って説明。

◇会長

事務局からの説明について質問・意見等はないか。

○委員

みなし仮設住宅に居住している方々は地域との交流が少ない。町内会の行事等を通じて交流を深めていけば、孤独死を未然に防ぐことができると思う。是非、町内会への加入を勧めていただきたい。

■事務局

自治会への加入を促進していくとともに民生委員と情報共有しながら高齢者等の見守りを行っていききたい。

◇会長

仮設住宅・みなし仮設住宅に住んでいる方は、仮住まいの意識が強いため、町内会に加入したがないという意見が今年の懇話会が出た。

事務局側には、町内会への加入など、地域コミュニティへの参加促進のための施策をお願いします。

また、先程、民生委員の話があったが、高齢者等の見守りについて何か情報があれば教えていただきたい。

○委員

東区内には約2,700世帯が仮設住宅・みなし仮設住宅に入居しているが、民生委員による支援を希望している世帯は約70世帯しかいない。

地域の情報がないため、本当に支援が必要な方が何処に住んでいるのか判らないのが現状である。

■事務局

支援希望者の個人情報をも民生委員に提供する際には、本人の同意が必須であるため、希望世帯数は約70世帯に留まっているが、地域支え合いセンター職員とささえりあ職員が連携しながら独居老人等の見守りを行っている。

○委員

自力で再建できる世帯は何割いるのかを教えてください。また、入居の際に保証人がいないという問題があるため、自立できない世帯が多いと聞いている。

■事務局

仮設住宅・みなし仮設住宅の入居者に対して意向調査を行ったところ、入居の延長を希望している方が6割程度であり、約4割の方は自力で再建できるのではないかと見込んでいる。

また、借家保証人の件については、熊本市社会福祉協議会が保証人の代行を行っており、さらに、住まいを斡旋するために本市が外部に委託して伴走型住まい確保支援事業を実施しているところである。

○委員

生活再建のお手伝いをするために地域包括支援センターでリバースモーゲージの支援を行っているが、制度の活用数を教えてください。

■事務局

数件の相談が寄せられたと聞いたことがあるが、リバースモーゲージの活用を希望する方は少ないようだ。

○委員

緊急通報システムの申請の仕方と概要を教えてください。

○委員

基本的には、概ね65歳以上の一人暮らしの方が対象となっている。なお、申請の窓口は、ささえりあであるため、緊急通報システムを設置したいときは地元のささえりあに相談していただきたい。

○委員

仮設住宅やみなし仮設住宅に住んでいる方だけではなく、町内に住んでいる高齢者などに対しても緊急通報システムの広報を行っていただきたい。

◇会長

緊急通報システムの設置は、仮設住宅・みなし仮設住宅以外の方も対象となるのか。

■事務局

基本的には高齢者が対象であるが、仮設住宅・みなし仮設住宅に入居している方に限っては、病弱の方や疾病がある方も対象となる場合がある。

◇会長

行政には、引き続き被災者に対する支援をお願いしたい。

他に意見・質問等がないため、その他「(2) 地域包括ケアシステムの推進状況について」に移らせていただく。それでは、事務局からの説明をお願いする。

■事務局

「資料3」に沿って説明。

◇会長

事務局からの説明について質問・意見等はないか。

○委員

2025年に団塊世代全てが後期高齢者になるが、2025年に達する前から様々な問題が発生する可能性があることをほとんどの方は理解していない。今後は、医療費や介護保険料の負担が増えるだけでなく、行政サービスが減り、さらにマンパワーも少なくなるため一番重要なことは地域の課題として認知症の予防策を皆で考えていくことだと思う。

先ほど話があったとおり、子ども会は子ども会、こっちはこっちと言うよう

に単独で事業を行うのではなく、様々な事業をタイアップさせることによって、より多くの方の参加を促し、ひいては、世代を超えたコミュニティの場ができればよいと思う。コミュニティがきちんとできていないと、介護予防や防犯、さらには防災対策もなかなか進まないと思う。そこで、次年度は、そのような視点から事業を行っていただきたい。

■事務局

2025年問題の話であるが、地域との交流を深めることによって、お互いに助け合い、支え合う気持ちを育ていき、ひいては、高齢者など誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らすことができるまちづくりを目指していきたいと考えている。

◇会長

他に意見・質問等がないため、その他「(3) 校区防災訓練等の実施状況について」に移らせていただく。それでは、事務局からの説明をお願いします。

■事務局

「資料4」について説明。

◇会長

事務局からの説明について質問・意見等はないか。

○委員

マニュアルを作成したおかげかは判らないが、先日実施した防災訓練は、地域の方々の関心も高く、250名の方が訓練に参加していただいた。

どのように行動すればよいか、避難所の区割りの仕方などを皆で考えることができ、大変有意義な時間を過ごさせていただいた。

なお、作成したマニュアルがほしいという要望があれば提供する。

◇会長

防災訓練をしたことがない校区はどうやって実施すればよいのか判らないと思うので情報提供のために作成したマニュアルを他校区に配布してほしい。

他に意見・質問等がないようだが、事務局から他に説明することはないか。

■事務局

ATMを3月末までに設置することになったため、この場を借りて報告さ

せていただく。

◇会長

只今の説明に対して質問・意見等がないため、これで議事を終了する。